

## ひらがなが読めるようになるには・・・

子ども達と遊んでいるとあいうえお表の前で「あいうえお、かきくけこ・・・」と言っている姿を見る事があります。

何だか読めているような気がするけれど、実はこれ、文字は読めていない事が多いのです。

「あいうえお・・・」を耳で聞いて、音としてとらえているのです。つまり、歌のように暗唱しているのですよね。

実際に、あいうえお表を使って、「あ・お・き・か・う・・・」とランダムに差し棒で当てると、読めない事があります。

これは、文字（ひらがな）の形を理解していないので、読み方と文字が繋がっていないのです。

同じように、形の似た文字、例えば、「ろ・る」「さ・き」なども読みにくかったり、間違えてしまったりという事があります。

大五京・大五洋では、3歳児から「文字遊び」として文字の時間を保育の中に取り入れています。その時にはただ「あいうえお表」を用いて指導するのではなく、子ども達がいかに文字に興味を持って取り組めるか、を考えながら進めています。

また、クラス、施設によって様々な工夫をして取り組んでいます。

クイズ遊びが好きなクラスであれば、文字探しクイズや間違い探しクイズなど文字カードや絵カードを使って、文字の特徴を知っていきます。

ひらがなをただ暗唱するのではなく、文字の形とつなげる事がとても大切なのです。

それは、「あ」からでなくても大丈夫。

子どもの知っている文字からでも良いですし、名前の一文字からでもよいのです。

一つのきっかけから、どのように子どもの知識が広がっていくのかを考えながら、私たちは日々の文字遊びを進めています。